

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 支援担当

内線 3187

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | |
|--------------------------|---|------|----|--|-----|----------|--|----------------|---------|-------|-------|
| B 1 | HEMS・省エネ改修補助事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成26年度 | 根拠法令 | なし | | | 戦略項目分野施策 | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン2市の重点実施街区内の既設住宅に対して、省エネ診断を実施し、省エネ機器の導入を促進する。また、HEMSに加え、省エネ設備設置の補助を行う。</p> <p>(1) HEMS・省エネ改修補助事業費 21,500千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン2市の重点実施街区において、HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメントシステム)導入による電力使用量「見える化」、それに伴う省エネ推進に係る実証を行う。 また、省エネ診断の実施、省エネ設備等の導入を促進することにより、既設住宅のエコ化を図る。</p> <p>(2) 必要性 効率的にエネルギーを使用するためにはHEMS導入による電力使用量「見える化」が有効であり、その実証が不可欠である。 また、今後の省エネ改修等に係るニーズ等について幅広く把握するためには、まずエコタウン市内での設備等補助の実践が必要である。</p> <p>(3) 事業内容 HEMS・省エネ改修補助事業費 21,500千円 平成24年度～平成26年度</p> <p>ア 「HEMS導入」を支援して、家庭のエネルギーの見える化を推進する。 HEMS導入補助(県・市 各1/2) 210世帯(本庄市100世帯、東松山市110世帯)</p> <p>イ 「省エネ診断」を行い、スマートハウス化の気運を高め、「省エネ改修」を推進する。 省エネ診断委託 80世帯(本庄市 12世帯、東松山市 68世帯) 省エネ改修補助(県・市 各1/10) 35世帯(本庄市 5世帯、東松山市 30世帯)</p> <p>(4) 事業計画 11月以降 省エネ診断実施 順次、省エネ改修完了 平成25年度～ 省エネ効果検証</p> | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | <p>HEMS導入補助 (県1/2) 市1/2 省エネ診断委託 (県10/10) 省エネ改修補助 (県1/10) 市1/10・事業者8/10</p> | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | | | | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 21,500 | | | | | | | 21,500 | 21,500 | | |
| 要 | 21,500 | | | | | | | 21,500 | 21,500 | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | | | | | | | | | | |

【審査の考え方】
エコタウン2市の重点実施街区において、既設住宅のエコ化を図るための省エネ推進に係る実証の必要性を認め、要求額を措置した。

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 支援担当

内線 3185

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | | | | | |
|--------------------------|---|-------|----|--|-----|----------|--|----------------|-------|---------|--------|-------|--|-------|--|
| B 2 | ナイトウォークトレイル整備事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | | | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成24年度 | 根拠法令 | なし | | | 戦略項目分野施策 | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン実施市である東松山市において、ウォーキングを活用した商店街再生モデルを構築するため、東松山駅東口の「ぼたん通り商店街」付近におけるウォーキングコース内のLED誘導灯、太陽光発電・蓄電池付きLED灯等の設置に対する補助を行う。</p> <p>(1) ナイトウォークトレイル整備事業費 11,500千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン実施市である東松山市において、市の特徴であるウォーキングを活用した商店街再生モデルを構築するため、エコタウン・健康長寿を推進する。</p> <p>(2) 必要性 埼玉エコタウン基本理念である「①エネルギー地産地消推進②環境の視点を通じた暮らしやすく活力ある地域社会の創造」を踏まえ、商店街再生モデルの構築を進めることが必要である。</p> <p>(3) 事業内容 ナイトウォークトレイル整備事業費 11,500千円 東松山駅東口の「ぼたん通り商店街」付近におけるウォーキングコース内のLED誘導灯、太陽光発電・蓄電池付きLED灯等の設置に対する補助 (平成24年度限り)</p> <p>LED誘導灯 228千円 × 50基 × 1/2 =5,700千円 太陽光発電・蓄電池付きLED灯 1,900千円 × 4基 × 1/2 =3,800千円 エコ案内板 200千円 × 10基 × 1/2 =1,000千円 LEDイルミネーション 2,000千円 × 1基 × 1/2 =1,000千円 県負担分 11,500千円 (県・市 各1/2)</p> <p>(4) その他 民間の資金を調達することにより、公費負担の軽減を検討する。</p> | | | | | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | (県1/2) 市1/2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | 地域活性化事業債(8,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | 11,500 | 9,000 | | | | | | 一般財源 | 2,500 | 補正後の予算額 | 11,500 | 当初予算額 | | 現計予算額 | |
| 決 | | | | | | | | | | | | うち一財 | | うち一財 | |
| 要 | 11,500 | 9,000 | | | | | | 2,500 | | 11,500 | | | | | |
| 現 | 0 | | | | | | | | | | | | | | |

【審査の考え方】

エコタウン実施市である東松山市が行う事業への支援の必要性を認め、要求額を措置した。

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 企画担当

内線 3186

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | |
|--------------------------|--|--------|----|---|-----|----------|--|----------------|---------|-------|-------|
| B 3 | 本庄市避難所エコ化モデル事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成24年度 | 根拠法令 | なし | | | 戦略項目分野施策 | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン実施市である本庄市において、指定避難所の入口付近における太陽光発電・蓄電池付きLED灯の設置に対する補助を行う。</p> <p>(1) 本庄市避難所エコ化モデル事業費 30,000千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン実施市である本庄市において、エコタウンプロジェクト推進の端緒に位置付ける事業として太陽光発電・蓄電池付きLED灯を指定避難所に設置し災害時に資するとともに、本庄市民にエコタウンプロジェクトを印象付ける。また、今後の公共施設エコ化の契機とする。</p> <p>(2) 必要性 本庄市民からはエコタウンプロジェクト実施市として目に見える取組を求める声が高い。早急に実施できる取組として、あわせて災害時に資する取組として市民にとっても必要性が高い。</p> <p>(3) 事業内容 本庄市避難所エコ化モデル事業費 30,000千円 指定避難所入口付近における太陽光発電・蓄電池付きLED灯の設置に対する補助(平成24年度限り) 指定避難所 ・小中学校 17か所21基 ・主要公共施設 5か所12基 ・若泉運動防災公園駐車場(防災広場) 2か所 7基 合計 24か所40基 40基 × 1,500千円/基 × 1/2 = 30,000千円 (県・市 各1/2)</p> <p>(4) その他 民間の資金を調達することにより、公費負担の軽減を検討する。</p> | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | (県1/2) 市1/2 | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | 地域活性化事業債(27,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。 | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | 県債 | | | | | | | | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 30,000 | 30,000 | | | | | | | 30,000 | | |
| 要 | 30,000 | 30,000 | | | | | | | | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | | | | | | | | 30,000 | | |

【審査の考え方】

エコタウン実施市である本庄市が行う事業への支援の必要性を認め、要求額を措置した。

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 支援担当

内線 3187

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | |
|--------------------------|---|------|----|--|-----|----------|--|----------------|---------|-------|-------|
| B 4 | 「我が家のスマートハウス化」モデル事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成24年度 | 根拠法令 | なし | | | 戦略項目分野施策 | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン2市の重点実施街区における既設住宅のスマートハウス化に関する基本仕様の構築に向け、省エネリフォームによる投資効果の現状調査などを実施する。</p> <p>(1) 「我が家のスマートハウス化」モデル事業費 4,384千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン2市の重点実施街区において、既設住宅のスマートハウス化に関する基本仕様を構築し、既設住宅のスマート化普及に資する。</p> <p>(2) 必要性 既設住宅については、これまで省エネ・創エネに関して体系的な取組は実施されてこなかった。リフォーム等に関する具体的な取組内容・効果をモデル化していくことは、既設住宅での省エネ・創エネに関する取組を普及するため必要である。</p> <p>(3) 事業内容 「我が家のスマートハウス化」モデル事業費 4,384千円 エコタウン2市の重点実施街区において、民間企業等の活力を生かした多様なスマートハウス化モデルを構築するための調査委託等を実施する。</p> <p>(4) 事業計画 平成24年10月～ <ul style="list-style-type: none"> 多様な民間事業者の参画のもと、モデル構築に向けた協議会を設置 スマートハウス化に関する基本仕様等を検討、構築 </p> | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | (県10/10) | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | | | | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 4,384 | | | | | | | 4,384 | 4,384 | | |
| 要 | 4,384 | | | | | | | 4,384 | 4,384 | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | | | | | | | | | | |

【審査の考え方】

既設住宅のスマートハウス化モデルを構築するための調査の必要性を認め、要求額を措置した。

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 支援担当

内線 3188

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | |
|--------------------------|---|------|----|---|-----|----------|--|----------------|---------|-------|-------|
| B 5 | 商店街まるごと省エネ改修事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成26年度 | 根拠法令 | なし | | | 戦略項目分野施策 | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン実施市である東松山市において、東松山駅東口の「ぼたん通り商店街」の店舗を対象に、省エネ診断等を実施する。</p> <p>(1) 商店街まるごと省エネ改修事業費 4,000千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン実施市である東松山市において、エコタウンプロジェクトの推進を図るため、東松山駅東口の「ぼたん通り商店街」の店舗を対象に、事業活動における節電や省エネルギーに対応した診断を行い、エネルギー使用量の削減によりエコで魅力的な商店街へと復興を図る。</p> <p>(2) 必要性 エネルギー削減のためには、まず事業者が省エネの重要性を理解し、現在の使用状況について(効率性、浪費など)の問題を把握することが重要である。それには、専門家による細やかな省エネ診断が必要となる。</p> <p>(3) 事業内容 商店街まるごと省エネ改修事業費 4,000千円 「ぼたん通り商店街」の店舗を対象に省エネ診断等を実施する。</p> <p>省エネ診断 80件</p> <p>(4) 事業計画 平成24年10月～ 省エネ診断 平成25年度～ 省エネ診断の内容に従い、目標を定めて省エネ改修を実施</p> | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分(県10/10) | | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | | | | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 4,000 | | | | | | | 4,000 | 4,000 | | |
| 要 | 4,000 | | | | | | | 4,000 | 4,000 | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | | | | | | | | | | |

【審査の考え方】

徹底した省エネによるエコで魅力的な商店街に向けた省エネ診断の必要性を認め、要求額を措置した。

平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 エコタウン課
担当名 企画担当

内線 3185

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | | | | | | |
|--------------------------|---|-------|-------|--|-----|-----|--|----------------|--------|---------|--------|-------|------|-------|--|
| B 8 | 次世代交通システム構築事業費 | | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | エコタウンプロジェクト推進費 | | | | | | | |
| 事業期間 | 平成24年度～平成24年度 | 根拠法令 | なし | 戦略項目分野施策 | | | 09 新エネルギー埼玉モデルの推進 040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| 1 事業の概要 | <p>エコタウン2市の重点実施街区周辺等において、EV・PHV普及促進に向けて充電器整備に対する補助を行う。</p> <p>(1) 次世代交通システム構築事業費 16,600千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 目的 エコタウン2市の重点実施街区周辺等において、次世代交通システム構築の要となる急速充電器等を整備するとともに、チャデモ協議会が推進する充電課金モデル実証に参画し、EV・PHV普及促進の基盤整備を行う。</p> <p>(2) 必要性 ストップ温暖化埼玉ナビゲーション2050に示された環境の視点を通して、暮らしやすく活力ある地域社会の創造を目指すためには、EV・PHVを中心とした次世代交通システム構築が必要である。</p> <p>(3) 事業内容 次世代交通システム構築事業費 16,600千円 EV・PHV普及促進に向けた充電器整備に対する補助(県10/10) (平成24年度限り)</p> <p>急速充電器 4か所(エコタウン2市 各2か所)</p> <p>普通充電器 4か所(東松山市)</p> <p>(4) その他 ア 急速充電器1基は、エコタウン2市における重点実施街区周辺に設置する。もう1基は充電器の配置状況を考慮して設置する。 イ 普通充電器は市民活動センターに設置し、市民のEV利用シーン拡大を図るとともに、将来的に自主防犯パトロールの拠点とする。</p> | | | | | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分(県10/10) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | <p>地域活性化事業債(3,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | 16,600 | 県債 | 4,000 | | | | | 一般財源 | 12,600 | 補正後の予算額 | 16,600 | 当初予算額 | | 現計予算額 | |
| 決 | | | | | | | | | | | | うち一財 | うち一財 | | |
| 要 | 16,600 | 4,000 | | | | | | 12,600 | | 16,600 | | | | | |
| 現 | 0 | | | | | | | | | | | | | | |

【審査の考え方】

エコタウン2市におけるEV・PHVの普及に向けた充電器整備の必要性を認め、要求額を措置した。